



「私の好きな京都を紹介します」

<学習者さんの紀行文を紹介します>



洪さんは滞日三年目でN2取得を目指して学習しています。

趣味として紀行文や好きなアーティストについてのエッセイ等を書いて

います。日本文化の良き理解者です。優れた旅行記からわかるように、語彙・漢字は得意なので文法

と聴解に重点を置いて学習中です。(担当ボランティア鈴木護さん)

1

こんにちは、私は洪と申します。中国の雲南から来ました。2006年雲南民族大学を卒業しました。旅行が好きです。今、千葉県の実籾で働いています。今日は、私の好きな京都についてお話しします。

京都、私の日本文化に対するすべての憧れが京都にあります。私は京都に行くたびに1週間滞在します。いろいろな所へ行きます。天気がよかったですから、観光客がたくさんいました。京都を訪れたのは4回目です。行くたびに違う印象を受けます。何度京都を訪れても、この風情ある街並み、歴史ある寺院にまた足を運んでしまいます。伝統の中に、つねに新しい発見があって、新しい感動があるのです。

清水寺は舞台で有名な寺です。夏の緑と秋のもみじは1番すばらしいです。徳川家康が京都での居城として築いた二条城、さまざまな時代の流れと権力の移ろいが感じられます。

本願寺もきれいです。私は西本願寺へ行きました。豪華な桃山美術の宝庫です。三十三間堂はとてもすごいです。1001体の千手観音が並んでいます

また、とても好きな所は嵐山です。渡月橋への道は、にぎやかな商店街。天龍寺から竹林の道へ抜け、周辺の寺社めぐりながら嵯峨野を散策します。初めて船に乗った、保津川下りは新緑のアーチ、清涼感ある木々の息吹です。



天龍寺からの竹林の道

私のホテルは伏見稲荷のとなりです。朝と夜、伏見稲荷大社へ2回行きました。朱の鳥居が印象的な稲荷大社では山へハイキング気分で行けるのも楽しかったです。

千年の古都の繁栄は、にぎやかなところにあるのではなくて、観光客に隠れて、信仰のある生活が延々と続いています。街のあちこちの土塀が鴨川の光輝く水面の光に照らされていました。

桂川を越えて、あらしやまに着きました。西の山は、青々としていて、水がさらさらと流れています。昔、山に隠れていた高僧たちは、古都の美しさと繁栄・戦乱と災厄について書いています。

ここは、千年の古刹があり、文士の隠れどころもあり、紫式部の残した物語もあります。



伏見稲荷大社の鳥居

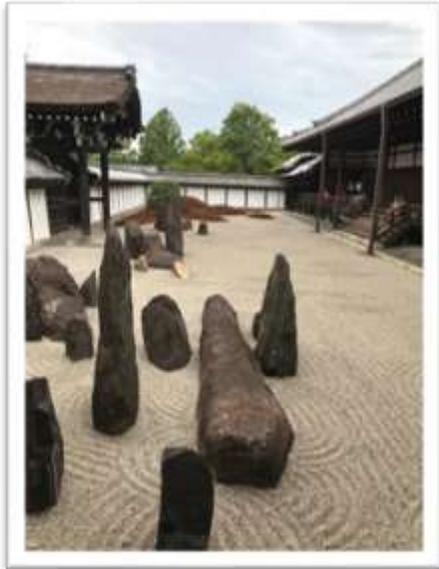
古都の繁栄はその路地の中に隠れています。平安時代から伝えられてきた風習は観光客には必ずしも理解できるとは限らないかもしれません。しかし、歴史の街を通り抜けるだけで、生活している人々の喜びと悲しさが繰り返されてきたのでしょうか。私たちは、京都に何かを感じることができるかもしれません。

京都、まるで、時計のように正確で静かな時間があります。しかし、京都人たちの人と人との距離が見えるのは街を通っている人たちのあいさつの表情と姿だけです。この距離は日本人の付き合い方でもあります。

古風な書道とか、素朴な家具とか、精緻な置物が置かれている老舗とかにふらりと入って、年を問うと、三百年以上あつたりします。

3

金閣寺・平安神宮・東福寺など、どれも好きです。京都の街を散歩すると、文化遺産になっている建物も、普通の建物もさまざまな美しい景色の中で古さと静かさが調和しています。これは歴史と現在の完璧な溶け合いの国だと思います。



東福寺の石礎

これは、もしかしたら、京都という古い都市が日本の他の地方と、こんなにも違う理由なのではないでしょうか？ 京都、もう一度あなたに会えるのを楽しみにしています。

私はどこへ行っても1つの習慣があります。いろいろな観光地のチケットとパンフレット集めです。この習慣はもう30年も続いています。将来は、より多くの世界の各地へ行くつもりです。できるだけいろいろな所に行って、見聞を広めるつもりです。それから、日本語で旅行記を書き人々に読んでもらいたいです。

みんな、楽しみにしてます。皆さん、今日はありがとうございました。

これには、私は感心します。中国の祭所が来ません。2006年雲南民族大学を卒業しました。旅行が好きな、今、千葉県の栗駒で働いています。今日は、私の好きな京都についてお話しします。

京都、私の日本文化に対するすべての憧れが京都にあります。京都には古寺や神社がたくさんあります。いろいろな所へ行きます。天気がよければ、観音堂がたてこたえ、京都を歩くと、この風景がある街を歩くと、新しい発見がある。京都の歴史は、古い歴史がある。新しい発見がある。京都の歴史は、古い歴史がある。新しい発見がある。京都の歴史は、古い歴史がある。新しい発見がある。

天龍寺から竹林の道へ抜け、周辺の寺社をめぐりながら嵯峨野を散歩します。初めて船に乗った。津津川下りは深緑のアーチ。私の本日は伏見稲荷のとなりです。朝と夜、伏見稲荷大社へ2回行きます。朱の鳥居が印象的な稲荷大社は山へハイキング気分が楽しめるのも楽しみの一つです。観光客と混ざり、信仰のある生活が延々と続いています。街のあちこちの土塔が鴨川の光輝と水面の光に照り輝いていました。

桂川を越え、あちこちで着きました。西の山は、青々とした水かさのせいで流れが速いです。昔、山に隠れていた高僧が、京都の美しいと驚き、戦乱と災厄にたいして書いてきたの残した物語があります。京都の繁華はその路地の中に隠れています。平安時代からは限らないかもしれませんが、生活している人々の喜びと悲しみを感じてきたこと。私たちが、京都に何を感ずることができたのか。京都、まるで、時計のよう正確で静かな時間があります。しかし、京都人たちの人々との距離が見えるのは街を歩いているからこそあります。百鬼夜行道とか、素材の家具とか、精緻な遺物が置かれた老舗や店に会い、2、3年を聞くと、30年以上あったり。

金閣寺・平安神宮・東福寺など、どれも好きです。京都の街を散歩すると、文化遺産になっている建物も、普通の建物もさまざまな美しい景色の中で古さと静かさが調和しています。

洪さん直筆の原稿